

VI 流通・販売

農畜水産物の海外輸出

○輸出の取組み

本格的な人口減少社会を迎え、将来的に国内マーケットの縮小が見込まれる中、海外では、アジア地域での富裕層の増加や日本食ブームを背景に、魅力あるマーケットが形成されつつあります。

県では、岐阜県農林水産物輸出促進協議会(事務局: J A全農岐阜)と連携し、飛騨牛・鮎・柿を中心に県産農産物の輸出促進に取り組んでいます。

【令和元年度の主な取組み】

◆オーストラリア〔トップセールス〕

- ・大手食肉卸売業者「グローバル・ミート社」と協力覚書を締結(9月11日)
- ・有名料理学校「ウィリアム・アングリス」にて飛騨牛講習会を開催(9月11日)
- ・高級レストラン「NOBU(メルボルン)」「6 HEAD(シドニー)」を飛騨牛海外推奨店に認定(9月11日、14日)
- ・オーストラリア初となる飛騨牛メニューフェアを開催(10月12日～18日)
- ・岐阜柿を初輸出(試験輸出)し、現地レストランにて評価確認(11月28日)



グローバル社との覚書締結
(R1. 9. 11 オーストラリア)

◆タイ

- ・バンコクの高級日本食レストラン「きさら」を岐阜鮎海外推奨店第1号店に認定(11月25日)
- ・高級百貨店「セントラル」において、岐阜鮎、岐阜枝豆、岐阜苺などの販売フェアを開催(8月、10月、2月)



料理学校での飛騨牛講習会
(R1. 9. 11 オーストラリア)

◆フランス

- ・パリの有名レストラン「ダローザ」との連携により、岐阜枝豆、岐阜栗、岐阜柿などを使ったオリジナルレシピを開発し、メニューフェアを開催(通年)

◆香港

- ・高級百貨店「YATA」のCEOを招へいし、産地を紹介(6月9日～11日)
- ・産地招へいを契機として、「YATA」において岐阜鮎、岐阜枝豆の販売フェアを初開催(7月30日～8月5日)



岐阜鮎海外推奨店認定式
(R1. 11. 25 タイ)

◆国内

- ・ハラール認証飛騨牛の需要開拓に向けて東京でセミナーを開催(7月10日)

○主要品目の輸出実績(推移)

品目/年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
飛騨牛(t)	-	-	-	-	0.3	0.5	1.1	1.3	2.0	9.5	16.1	23.5	24.6	43.2	59.2
鮎(t)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	0.07	0.42	1.04	1.22	1.42
柿(t)	0.5	9.8	21.6	8.0	11.1	9.0	10.0	4.9	34.0	23.7	21.5	47.2	43.6	53.1	48.5

※県農産物流通課調べ

○岐阜県農林水産物輸出促進協議会

県産農産物等の輸出拡大に向け、農業団体・食品産業団体・商工業団体などにより、平成16年9月に設置された組織(構成:10団体)

JA全農岐阜、岐阜県園芸特産振興会、飛騨牛銘柄推進協議会、岐阜県漁業協同組合連合会、岐阜県食品産業協議会、岐阜県商工会連合会、JETRO岐阜、岐阜県産業経済振興センター、ぎふクリーン農業研究センター、岐阜県

首都圏等での販売促進

○首都圏での販売促進の取組み

情報発信力の高い首都圏において、様々なチャンネルを利用し、飛騨牛、鮎など県産農畜水産物の効果的なPRやイベントを実施しており、消費者認知度（ブランド力）のさらなる向上や販路の拡大につながっています。

首都圏での飛騨牛取扱店舗数の推移（R2.1月末現在）

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1
飛騨牛新規取扱店	41	49	59	72	97	118
飛騨牛料理指定店	15	16	16	15	14	15

※飛騨牛料理指定店

飛騨牛銘柄推進協議会が以下の（1）もしくは（2）の要件を満たしたものを認定する。

- （1）飛騨牛販売指定店より飛騨牛のA5・B5をおおむね年間3頭以上購入し、飛騨牛のイメージアップにふさわしい料理店。
- （2）飛騨牛を販売指定店より購入し、常時飛騨牛のA5・B5のみを使用していて、飛騨牛のイメージアップにふさわしい料理店。

【販売促進の取組み】

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、飛騨牛をはじめとする県産農畜水産物のブランド力向上を図るため、首都圏のホテル・レストラン等を対象に各種PR活動を展開しています。

1 「『清流の国ぎふ』まるごと食マルシェ」食材披露会

東京オリンピック・パラリンピック大会関係団体やケータリング事業者、ホテル・レストラン関係者を招待し、「清流の国ぎふ」おもてなし食材（11品目※）を使用した料理の試食会を開催。

併せて、ハラル認証飛騨牛セミナーを同時開催。

※米、トマト、ほうれんそう、だいこん、えだまめ、こまつな、茶、飛騨牛、豚、鶏、鮎

2 清流長良川の鮎フェア

清流長良川の天然鮎「郡上鮎」を使用したメニューフェアを、東京都内の高級料理店14店舗で開催。

3 飛騨牛メニューフェア

本県のトップブランドである飛騨牛を使用したメニューフェアを、東京都内のホテル・レストラン28店舗で開催。

4 県産食材産地見学会

ホテル・レストランの料理長、仕入れ担当者などを岐阜県に招聘し、生産施設等の視察や生産者との交流を通じて、県産農畜水産物の特長や安全な生産管理等についての理解促進を図るための産地見学会を開催。

5 ぎふの食体験イベント

飛騨牛やトマトなど県産食材を使用した料理をライブキッチン形式で体験するイベントを東京都内の商業施設で開催。



「清流の国ぎふ」まるごと食マルシェ 食材披露会
(R1.7.10、明治記念館)



県産食材産地見学会
(R1.6.13 高山市)



「ぎふの食体験」イベント
(R1.8.24～25 まるごとにつぼん)

○地理的表示保護制度（GI）の活用促進

地理的表示保護制度（GI）の活用を促進し、全国GIサポートデスクと連携して対象品目の洗い出し及び登録を目指す団体の登録支援を行っています。

- <登録状況>・奥飛騨山之村寒干し大根（すずしろグループ） 登録日：平成29年11月10日
・堂上蜂屋柿（美濃加茂市堂上蜂屋柿振興会） 登録日：平成29年12月15日

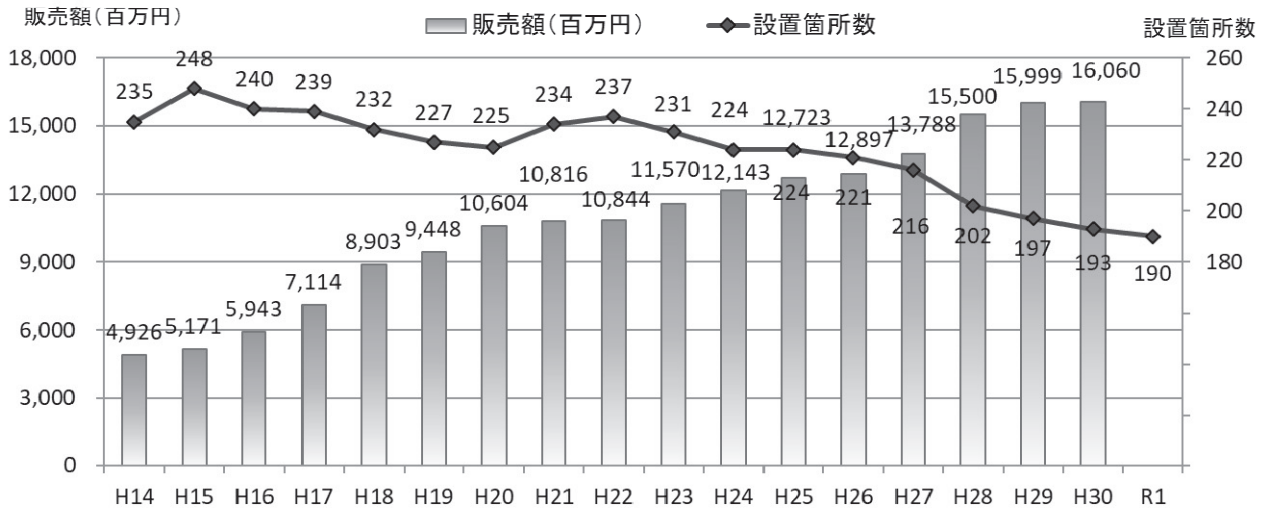
地 産 地 消

○農産物直売所は 190 箇所

県内の農産物直売所は、新鮮で安全、安心な農産物を求める消費者ニーズの高まりとともに各地域で開設されています。しかし、平成 15 年度の 248 箇所をピークに、大型直売所への統廃合や組合員の高齢化等により減少傾向にあり、令和元年 6 月現在 190 箇所となっています。

一方、販売額は年々増加しており、平成 30 年度は大型直売所における来客者及び売上増加により前年と比べ、約 6 千万円増の 161 億円となりました。

朝市・直売所等の設置数と販売額の推移



県農産物流通課調べ

注) 調査対象：①有人販売、②定期開催、③複数の地元農家が出荷し開催している直売所

○学校給食での県産農産物の利用状況

学校給食での県産農産物の使用割合は、米では 100%（岐阜県の銘柄米であるハツシモ、コシヒカリ）、小麦粉では 50%以上となっています。

利用率の低い畜産物や、野菜及び果実の使用を促進するため、学校給食地産地消推進事業の助成対象の範囲を拡大するなどの取組みにより、県産農畜産物の使用割合は、品目ベースで平成 30 年度に 34.1%、県内産の野菜及び果実では重量ベースで平成 30 年度に 22.0%となっています。

学校給食における県内産農産物の使用割合(%) (品目ベース)

年 度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
岐阜県	27.6	27.8	31.6	29.4	31.0	29.1	31.3	27.3	34.1	34.1
全国平均	26.1	25.0	25.7	25.1	25.8	26.9	26.9	25.8	26.4	26.0

県教育委員会体育健康課調べ

県内産の野菜及び果実の利用割合(%) (重量ベース)

年 度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
県内産	19.0	20.1	22.3	22.4	23.7	23.0	22.9	21.4	22.9	22.0

県農産物流通課調べ

注 1) (22 年度まで) 岐阜市の青果物使用実績を基に県全体の青果物総使用量を算定

注 2) (23 年度) 学校給食地産地消推進事業 使用実績報告数値 (県内産野菜・果実等使用量)

注 3) (24 年度以降) 野菜・果実等使用量調査結果

食 農 教 育

○食農教育の推進

平成 18 年 4 月 1 日に岐阜県食育基本条例が施行され、家庭、学校、医療機関、農林業者、食品関連事業者、消費者団体、行政機関等食育に関わる全ての関係者が、相互理解を深めながら連携、協働して食育を推進するため、「岐阜県食育推進基本計画（第 1 計画／平成 19 年 3 月策定）」、「第 2 次岐阜県食育推進基本計画（平成 24 年 3 月策定）」に続き、平成 29 年 3 月に「第 3 次岐阜県食育推進基本計画（計画期間：平成 29～33 年）」を策定しました。

県民の参加と協働で食農教育を推進しており、各地域で食育推進ボランティアが地域の食文化を題材にした講習会や農の体験を通じた食育に取り組んでいます。

地域実践活動の実績

年 度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
団体数(団体)	3	3	5	5	4	4	4	4	4	4
開催回数(回)	129	156	163	176	176	192	181	233	183	197
参加人数(人)	8,286	10,613	7,412	9,278	7,998	7,845	6,691	9,226	7,828	8,120

県農産物流通課調べ

- H20～21：食農教育実践支援事業
- H22～25：食農教育実践支援事業・教育ファーム活動支援事業
- H26～28：食農教育実践支援事業・幼児食農教育推進事業 等
- H29～：地域の魅力再発見食育推進事業

○幼児に対する食農教育の推進

「幼児食農教育プログラム（平成 19 年策定／平成 23 年改訂）」を、県内幼稚園や保育施設等へ普及するとともに、幼児及び児童用調理器具の貸出しを行い、体験を通じた食農教育を推進しています。

調理器具貸出実績

年 度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
団体数(団体)	9	9	12	9	9	10	15
回数(回)	11	12	14	10	11	13	10

幼児食農教育プログラム

生命の尊さを実感し感動することができる農作物の栽培、味覚の発達を促す食べる体験、料理を作る基礎能力を養う調理体験などを通じ、食と農の大切さを理解し生きる力の基礎を身につけ、幼児の心身の健全な発達を促すためのプログラム。

味覚の発達
食習慣やマナーの習得

農業体験

食に対する感謝
いのちと食と農の大切さ、旬、地域の農産物を知る

味覚

嗅覚

五感で
習得

聴覚

触覚

視覚

素材への関心、食欲の向上
多くの種類・嫌いな食べ物が
食べられる

食体験

調理体験

○大学生に対する食農教育の推進

青年層を対象とする取組みとして、岐阜市の枝豆産地の協力のもと、岐阜市立女子短期大学の学生を対象に食農教育活動を実施しています。令和元年度は 9 人の学生が参加し、枝豆の定植や収穫、収穫祭のスタッフなどを体験し、枝豆や生産者への理解を深めました。

6次産業化

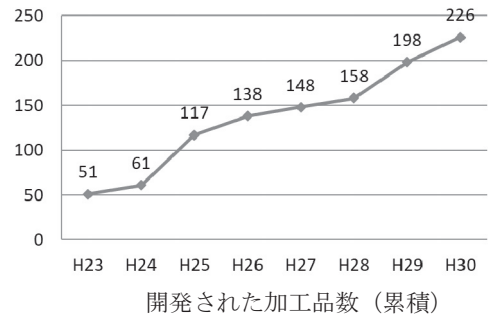
○農業の6次産業化

6次産業化とは、農林漁業者が自ら生産（1次産業）した農林水産物を使って、加工（2次産業）や販売（3次産業）を一体的・主体的に行う取組みのことで、付加価値の向上や流通マージンの削減により、農林漁業者の所得向上につながることを期待されています。

県内での6次産業化の取組みのすそ野は着実に広がっており、平成20年度から平成30年度までに県の支援策等を活用して、226品目の新たな加工品が開発されています。

【最近開発された商品例】

- ・金魚飯の素（各務原市）
- ・カスタード（羽島市）
- ・冷凍よもぎ（揖斐川町）
- ・コンフィチュール（池田町）
- ・トマトピューレ（郡上市）
- ・えごま油（瑞浪市・高山市）
- ・ほうれんそうパウダー（高山市）



○岐阜県6次産業化サポートセンターの設置

県では、農林漁業者が6次産業化に取り組むうえで発生する課題解決のために、岐阜県6次産業化サポートセンターを設置し、コンサルタントや加工品製造などの専門家（6次産業化プランナー）の派遣、人材育成研修を実施しています。

○岐阜県情報発信拠点「GIFTS PREMIUM」の運営

6次産業化を推進するにあたり、消費者ニーズを的確に捉え、ターゲットを明確にした商品企画力の向上や販売先の確保、効果的なプロモーションの展開などが課題となっています。

このため、県では、農林漁業者が6次産業化商品のテストマーケティングを行い、既存製品のブラッシュアップや新商品開発につなげる場として、名古屋市栄地区にアンテナショップを設置しています。

【概要】

- ・名称：GIFTS PREMIUM（ギフツプレミアム）
- ・場所：名古屋市東区東桜 1-11-1 オアシス 21 内
- ・設置：平成26年8月1日
平成31年4月27日リニューアルオープン
- ・規模：約150㎡
- ・内容：6次産業化商品、農産物、加工食品、地場産品など約800品目の販売並びに観光案内、移住相談機能を集約し、「観光・食・モノ」をはじめとした清流の国ぎふの魅力の総合的な発信



○6次産業化商品のPRおよび交流会の開催

6次産業化商品の販路拡大に向けた認知度向上を目的として、消費者向けのPRイベント「農家が作るこだわり商品フェア（令和元年8月14～15日）」を開催し、6次産業化商品を対面販売しました。

○その他支援

農林漁業者が行う新商品開発や、加工品製造する際に必要となる設備・機械等の整備を支援するために「6次産業化推進事業」及び「農業6次産業化促進支援事業」を設けるとともに、商品の販路拡大を支援するため商談会を継続して開催しています。

農産物流通

卸売市場取扱金額は870億79百万円

平成30年度の県内卸売市場の取扱金額は、青果物が563億円、水産物が137億円、食肉が153億円、花き・その他が18億円で、合計871億円（前年比95%）となっています。（中央卸売市場及び地方卸売市場の計。類似市場は除く。）

県内卸売市場取扱金額の推移

（単位：億円）

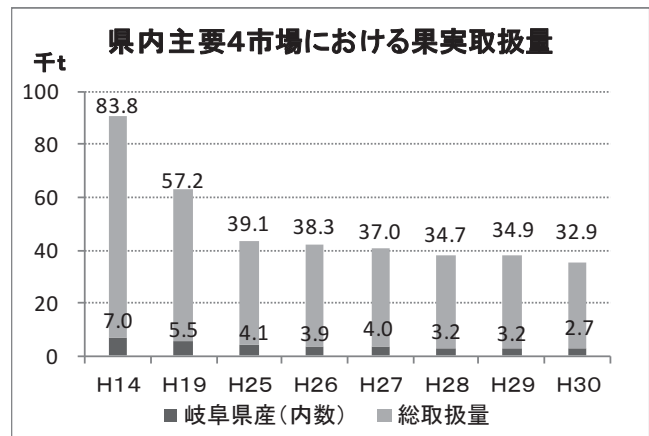
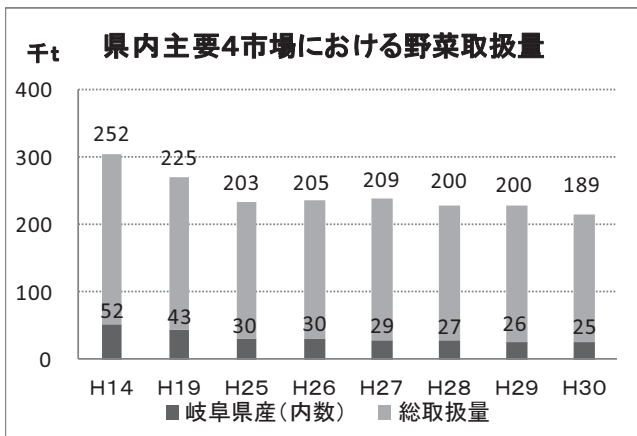
年 度	平成14	平成19	平成24	平成28	平成29	平成30
青果物	769.56	650.94	565.46	623.83	591.69	563.00
水産物	401.60	290.59	193.07	163.33	147.88	137.36
食 肉	111.61	143.53	126.40	151.39	154.43	152.68
花き・その他	43.93	31.75	27.13	22.20	21.24	17.75
合 計	1,326.70	1,116.81	918.18	960.75	915.24	870.79

県農産物流通課調べ

○卸売市場における県内産青果物の市場占有率は、野菜 13.0%、果実 8.2%

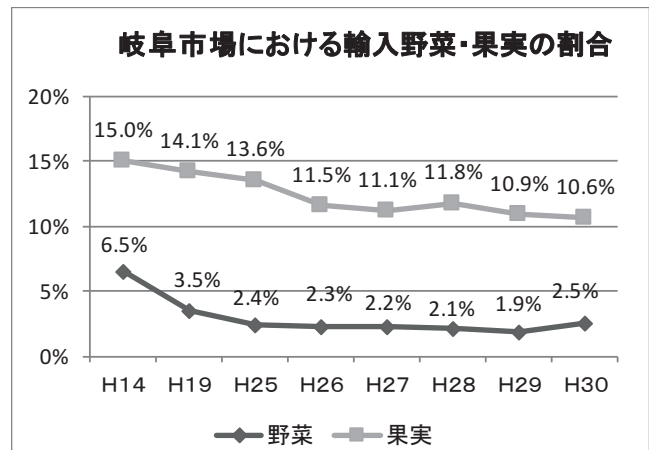
県内主要4市場（岐阜市中央卸売市場、大垣市、高山市、可児市の地方卸売市場）の取扱量は、野菜が18万9千t、果実が3万3千tとなっています。

また、そのうち岐阜県産の取扱量は、野菜が2万5千t（市場占有率13.0%）、果実が2.7千t（市場占有率8.2%）で、岐阜県産の市場占有率は野菜・果実とも減少で推移しています。



○卸売市場における輸入青果物の割合は横ばいで推移

岐阜市中央卸売市場における輸入青果物の取扱数量は近年ほぼ横ばいで推移しています（野菜2.5%、果実10.6%）。



県農産物流通課調べ

○青果物等の市場群別共販額

県内青果物等の市場群別共販額の推移

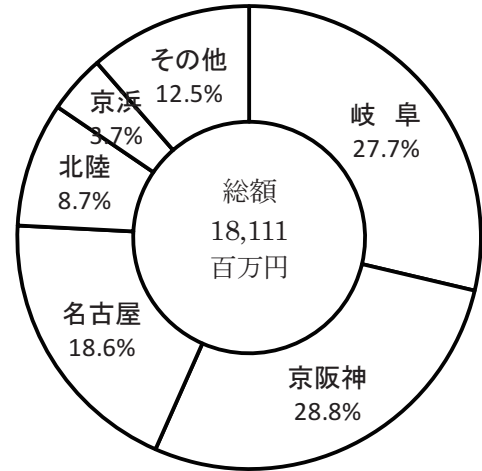
単位：百万円

市場群	平成 12	平成 17	平成 22	平成 29	平成 30
岐 阜	7,320	6,075	6,060	5,572	5,023
京阪神	7,988	6,647	5,909	5,425	5,209
名古屋	4,476	4,167	3,096	3,733	3,376
北 陸	4,009	2,981	2,335	1,690	1,578
京 浜	1,590	1,362	1,000	792	670
その他	777	837	1,929	2,213	2,256
総額	26,160	22,069	20,328	19,425	18,111

(四捨五入により合計が一致しないことがあります)

県農産物流通課調べ

同左の市場群別出荷割合（平成30年度）



○青果物等銘柄品共販の推移

本県では、平坦地から高冷地まで変化に富んだ自然条件と、大消費地に近い流通条件を活かした園芸振興を基本として、JA等系統組織を通じて県内外の市場へ出荷されています。

岐阜県青果物等銘柄共販数量及び金額の推移

単位：t、千本、百万円

区分	年 度	平成 12 年		平成 17 年		平成 22 年		平成 29 年		平成 30 年	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
野菜	トマト	23,345	7,179	21,557	5,872	17,637	5,839	19,238	5,874	19,058	6,066
	ほうれんそう	8,847	4,954	8,823	5,007	8,351	5,127	7,436	4,930	7,155	4,587
	いちご	3,146	2,958	2,198	2,126	1,742	1,584	1,221	1,442	1,093	1,369
	だいこん	16,185	1,660	11,322	1,015	7,176	774	6,748	723	5,790	588
	えだまめ	1,726	1,003	1,501	878	1,041	762	990	725	721	585
	きゅうり	3,165	774	3,063	743	2,787	755	2,404	658	2,357	656
	にんじん	5,204	516	4,346	454	3,056	430	2,972	376	3,216	302
	なす	1,666	304	1,167	224	743	191	537	150	453	140
	たまねぎ	1,598	72	831	61	436	39	597	37	511	27
	さといも	389	65	218	35	173	34	348	65	214	44
	メロン	91	30	43	20	47	20	30	16	31	18
果樹	かき	7,836	1,463	7,584	1,157	3,245	1,100	3,855	990	3,221	855
	なし	545	117	544	103	135	42	123	32	85	26
	もも	317	95	230	61	114	52	126	53	93	44
	みかん	457	76	529	36	107	22	161	30	172	27
	くり	99	36	74	38	52	21	43	34	15	12
	りんご	69	15	113	30	94	18	147	29	69	12
特産	荒茶	426	557	441	555	294	336	210	224	256	260
花き	花き	8,373	566	6,954	485	5,418	423	2,984	295	2,434	227
合 計		—	22,440	—	18,900	—	17,569	—	16,683	—	15,845

(「いちご」はH21以降「夏いちご」を含む。) 県農産物流通課調べ